



白亜の学舎

令和2年10月1日発行
山田中学校通信10月号
文責 校長 大森 雅明

稲刈りの終わった田んぼのあぜ道に赤い彼岸花が咲き、朝のひんやりとした空気が秋の訪れを感じさせます。猛暑とコロナの「特別な夏」が終わろうとしています。学校では、引き続き感染予防対策を行いながら教育活動を進めてまいります。



芸術の秋

文化合唱発表会

10月15日(木)、16日(金)の2日間で文化合唱発表会を開催します。9月29日付けの案内文書でお知らせしてまいりましたように、感染拡大防止対策として期日を2日間に分けて「密」状態の時間を短くしたり、保護者の参観を当該学年の発表時のみにしたりするなどの制限がありますが、日頃の合唱練習の成果を披露しますので、ぜひ会場でお聴きいただきたいと思っております。また、吹奏楽部演奏、生徒会の取組発表、教科や部活動での作品展示等も行います。入場制限をご確認の上、参加をお願いいたします。



スポーツの秋

中体連新人大会

嘉飯地区新人体育大会が開催されています。1・2年生にとっては、夏休みが短く練習が十分にできなかったと思いますが、出場選手にはベストを尽くして頑張ってもらいたと思います。今回の大会は、夏に行われた「交流大会」とは違い、勝ち上がれば筑豊大会・県大会に出場できます。ただしコロナ対策として無観客試合となっています。保護者の入場も「ビデオ撮影者1名」以外は認められていませんのでご理解とご協力をお願いします。

すでに行われた種目の結果と、今後の試合日程等をお知らせします。

【野球】 1回戦9月26日(土) 対幸袋中：7-0で勝利

2回戦9月27日(日) 対飯塚一中：2-6で敗退

(嘉穂中との合同チームとして出場)

【サッカー】 予選10月3日(土) 対鎮西中、対二瀬・碓井合同中 (伊岐須小・二瀬中)

【サッカー】 決勝トーナメント10月4日(日) (筑豊緑地球技場)

【柔道】 10月4日(日) 男女団体戦、男女個人戦 (稲築武道館)

【バレー男子】 予選リーグ10月24日(土) 対穂波西中、幸袋中 (山田中体育館)

順位決定リーグ10月25日(日) (山田中体育館)

【バレー女子】 予選リーグ10月24日(土) 対穂波西中、筑穂中、

稲築・稲築東合同中 (穂波西中体育館)

決勝トーナメント10月25日(日) (幸袋中体育館)

【バスケット女子】 予選リーグ10月24日(土) 対稲築東中、対稲築中 (鎮西中体育館)

決勝トーナメント11月1日(日) (幸袋中体育館)

【バスケット男子】 予選リーグ10月25日(日) 対稲築東中、対庄内中 (鎮西中体育館)

決勝トーナメント11月1日(日) (幸袋中体育館)



読書の秋



子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていくうえで欠くことのできないものです。しかし、今日、テレビ・パソコン・スマホなどの様々な情報メディアの発達・普及が急速に進み、子どもを取り巻く生活環境が変化し、さらには幼児期からの読書習慣の未形成により、子どもの「読書離れ」の傾向が指摘されています。本校生徒の読書環境は、平成31(令和元)年度の「全国学力・学習状況調査生徒質問」によると、平日の読書量や図書館の利用回数は、いずれも県・全国の平均よりもずいぶん低いものになっています。読書量と成績は正の相関関係、スマホ・ケータイ使用時間と成績は負の相関関係があることは周知の事実です。秋の夜長に、家庭でテレビを消して、スマホをおいて、家族読書タイムを作ってはどうか。

勉強の秋！？

勉強は季節に関係なく毎日習慣づけてやりましょう！！嘉麻市全体での家庭学習時間の目標は、中学1・2年が90分以上、中学3年は120分以上(塾や家庭教師の時間含む)としています。今日で中間考査が終わりますが、テストが終わったので全くしないのではなく、毎日継続して行いましょう。学力の向上は本校の大きな課題です。学校として取り組む授業スタイルの改善や教員の授業力向上、保護者の協力をいただきながら取り組む家庭学習の充実、そして何より生徒自身の「学ぶ意欲の向上」の全てに、全力で取り組んでいきたいと考えています。生徒の学力の実態として、裏面に本年度6月に実施した標準学力分析検査(フクト)の結果・分析と今後の取組等を記載していますのでご参照ください。

⇒裏面へ続く

1. 調査目的等

中学校全学年の生徒の学力を把握・分析し、学校における教育指導の成果と課題の検証やその改善及び進路指導に役立てる。

2. 学校ごとの指標

標準学力分析検査において、標準偏差値を47.2以上にする。

3. 指標にむけての取組

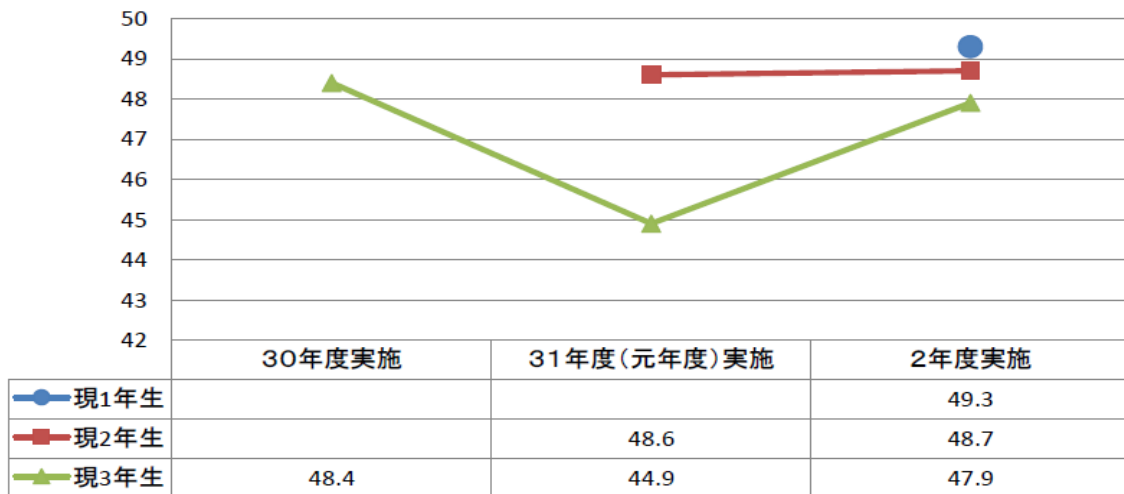
- 「学びの振り返り」ができるように、「めあて」と「まとめ」を提示した授業づくりの実施。
- 思考力・判断力・表現力の育成をねらいとした授業公開。
- 基礎・基本の定着を図るためのモジュール学習や補充学習の実施。

4. 調査結果

※学校平均5年間の推移 (標準偏差値50に対して)

年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (元年度)	2年度
本校(A)	47.8	48.3	48.2	46.6	48.6
嘉麻市(B)	47.3	47.9	49.3	48.8	48.6
(A)-(B)	0.5	0.4	-1.1	-2.2	0
標準偏差値との差 (A)-(50)	-2.2	-1.7	-1.8	-3.4	-1.4

各学年の推移



5. 各学校における分析

- 「めあて」の掲示はほとんどの授業でできているが、「まとめ」との整合性がとれていなかったり、生徒が学習に対する興味や意欲を高めたりするような「めあて」づくりになっていない。
- モジュール学習や補充学習の方法や目的が全校で共通理解していない。
- 家庭学習の未定着等の課題。
- 3年生は昨年度に比べ学力向上が伺える。その要因は、基礎・基本の反復学習を計画的に取り組みさせたことにあると考える。

6. 各学校における今後の取組

- 「めあて」「見通し」「学習活動」「まとめ」「振り返り」を位置づけた授業と校内研修の実施。
- 一人一授業の授業公開(参観授業)を実施し、お互いの授業を評価し合う取組の実施。
- モジュール学習や補充学習の目的を全職員と生徒で共通理解を図り、実施後の生徒アンケートを取り、評価・改善していく。
- 家庭学習の充実を図るために、考査前の学習計画表の工夫(保護者も参加する)や、通信やメールで学校の学習の取組を家庭にお知らせする。

7. 嘉麻市教育委員会としての今後の取組

◎今後の取組を具体化し推進することができるように、特に、次の3点について指導助言及び支援を行うとともに、周知徹底できるように継続的に指導する。

- ◆嘉麻市学力向上全体構想に設定した思考を伴う「書く(かく)活動」や目的のある「話し合い活動」を核とした授業づくりを推進する。そのために、校内研修での授業観察指導を実施したり、「学力向上に向けた授業づくりの8つのポイント」や「書く活動ポイント9」を活用することができるように指導助言や支援を行ったりする。また、山田中学校が目指す1単位時間の授業スタイルについて指導助言を行う。
- ◆嘉麻市学力向上全体構想に設定した「家庭学習の取組」を推進する。そのために、個に応じた学習課題の提示を進めるとともに、自学の習慣化に向けた具体的な取組を提示したり各学校の取組のよさを交流する場を設定したりする。
- ◆嘉麻市学力向上推進委員会に基づく学力向上検証改善委員会を開催し、「思考力・表現力等を問う定期考査」の実施、それに伴う授業改善を推進する。また、各学校が作成した「思考力・表現力等を問う定期考査」問題を交流する場を設定することで、質の向上を図る。

.....

※この結果は毎年4月(本年度はコロナの影響で6月)に実施されるテストですので、前年度の成果が数値として示されます。

- 3年生は、入学後一旦数値が下がりましたが、2年生の時によく頑張った結果が出ています。この調子で今後も努力し、自分の進路実現を目指してください。
- 2年生は、1年生の時によく頑張ったことがわかります。中学1年生になると勉強の中身が難しくなることや、部活動で時間を取られることから、2年生なる時に一般的には成績が下がる傾向にありますが、2年生は下がっていません。素晴らしいと思います。
- 1年生は1回目のテスト結果ですので昨年とは比較できませんが、小学校の時にきちんと勉強してきた成果が見られます。1年生での学習内容はこれから3年間の基礎となるものです。日々の授業を大切に、家庭学習の習慣をつけ、さらなる向上を目指しましょう。